

アートサポーター便り

編集：清須市はるひ美術館アートサポーター 広報チーム



矢島史織 《Monster》

美術館賞決定！



野中洋一 《海辺の療養所》

「清須市第8回はるひ絵画トリエンナーレ」(2015年4月19日～6月7日開催)で入賞・入選した28作品から、来館者にお好きな1点を選んで投票して頂き、「美術館賞」を決定しました。投票総数683票。1位は、53票ずつを獲得した2作品(写真左)となりました。

自分が審査員になった気持ちで、好きな作品を選ぶことができれば、作品を見ることが一層楽しくなりますネ！



展覧会のご案内

アーティストシリーズ Vol. 77

興津真紀子展

2015年10月7日(水)～24日(土)
清須市第8回はるひ絵画トリエンナーレの大賞受賞者です。お楽しみに。



興津真紀子 《光と希望》

私は《Monster》に投票しました。(K.H.)

幼い娘を抱いた母親と祖母が
エレベーターに乗込んできました。
見つめたり、撫でたりで忙しいこと。
初孫かな。

幸せいっぱいのご様子。

思わず「可愛いね」。

ひとりが耳聴く聞きつけ、ニコッと頷きました。

清洲駅の出来事です。

同じ雰囲気絵に出会いました。

白いフードの陰で目を閉じている幼い娘。

周りに家族がいるのかな。

安らぎが漂っています。

ところで画題は「観音様」かな？

「Monster」(モンスター)でした。うーん、困った。

孫の年頃の子を見て、祖父、祖母は可愛いと和んでいるが、

お母さんは子への期待や予感を楽しんでいるのかな。

そうだ、頷いたのは祖母で、ジーンと眺めていたのは母親だった。

いやいや勝手な妄想はやめて投票しよう。

幸せな雰囲気を味わったお礼に。



アートサポーターは、清須市はるひ美術館の運営をサポートしながら、仲間たちと一緒に楽しくアートに親しんでいるボランティアグループです。イベント企画チーム・美術館運営チーム・広報チームに分かれ活動しています。今回は美術館運営チームの活動を紹介します。

美術館運営チームは、館の企画展に連動したワークショップのサポートをしています。2014年秋に開催した岡田徹展では、名古屋のシュルレアリスムの旗手にちなみ、コラージュをつくるコーナーを準備しました。

また、美術館周辺を歩いて町の見どころを調査し、「周辺マップ」作成に協力しました。こちらは現在HPでご覧いただけます！